

認証保育料の補助実現へ!

歴史を変える新しい年

戦争法廃止の 国民連合政府を



第4回定例区議会では、長年の区民の切実な願いだった認証保育料の補助が実現する見通しが明らかになりました。自民党の質問に対する区長答弁で示されましたが、わが党は今議会に条例提案していました。他にも、介護制度やLGBT（性的マイノリティ）と人権などで重要な前進がありました。

区議団が 認証保育料助成条例提案



23区で唯一、認証保育所保育料助成未実施の江戸川区。区議団は「江戸川区認証保育所保育料の助成」の条例案を提出しました。

昨年4月の認可保育園待機児は347人、10月の区立保育園に入れない子どもは400人以上で、認証保育所に通う子どもは1010人（9月時点）で

す。認証保育所保育料は平均4万8986円で、認可保育園の平均（1万6869円）の3倍近くに上り、負担軽減は切実な要望です。

区議団の提案では「月保育時間160時間以上で、乳児養育手当てを受けていない乳幼児に1ヶ月1万円の助成」としています。

要支援者への介護サービス 3年間は継続

昨年、介護保険制度が改悪されましたが、江戸川区では、要支援者が受けていたサービスも事業者の報酬も維持しました。今後も継続するか確認したところ、2年間は今まで通りのサービスを行うと答弁。2018年以降については未定のため、引き続き要望を強めます。

介護福祉士確保のために 奨学金を

介護福祉士不足は深刻です。

学校を卒業して区内に就職すれば奨学金返済免除か減額の措置をと求めたところ、方策をいろいろ検討していると区長が前向きな答弁をしました。

国に制度の改善を

介護利用料2割負担などの改悪された介護保険の改善を国に要望するように求めました。しかし、区長は、国に要求する考えはないと冷たい態度でした。

小中一貫校より小中連携を

普通の小学校と学習内容が違い、高学年のリーダーシップが育たず、教育効果も不明な小中一貫校をつくるのは大きな問題

です。教育長は、検討中という答弁に終了しました。共産党は、一貫校ではなく小中連携をすすめるべきだと提案しました。

情緒障害通級学級教育の充実を

小学校11校にある通級学級が、先生が各校に訪問する巡回指導にかわります。教育効果が大きい通級のグループ学習を行うこと、全校に専用学習室を設けることなどを求めました。教育長は、要請があればグループ学習は継続するが専用室は考

えていないと答弁。個別学習のための専用室を求めていきます。



グループ学習の教室

平井二小跡地に東北大学院

本会議での区長答弁を通じ、今年3月閉校となる平井第二小学校の跡地を、東北大学国際会計政策大学院に誘致する方向が明らかにになりました。その後の

総務委員会で、区長は、特養ホームなど地元で切実な福祉施設については、旧二小小跡地や将来の中学校跡地の計画の中で検討すると答えました。

カヌー・スラローム 競技場の駐車場は仮設で

区はオリンピックの競技場の後利用はラフティングやプールなどとして活用するよう要望しています。しかし、景観に大きな影響を及ぼす5階建の立体駐車場は仮設にするべきです。区は、仮設は要請しないと答弁しました。



ロンドンのカヌー・スラローム競技場